



「和解の務め」音信

(18-5)

Jan. 2019

金煥・朴貞玉

Ministry of Reconciliation in South Africa

ヘシエンデ ケルスフィス エン ヌベ ヤール!
Geseende Kersfees en Nuwe Jaar!

1. 二つのカンファランスへの参加

クリスマスと新年を迎え、神の御祝福をお祈り申し上げます！一年の活動を省み、新しい年の活動を計画する年末となりました。皆様の上に主の御祝福をお祈りいたします。一年間の皆様のお祈りとご支援に心より感謝しつつ今年最後の音信をお送りします。

年末が近くなり、あちこちでカンファランスが多く開かれました。本人も二つのカンファランスに参加させて頂きました。一つは11月6日から8日までこちらのノースウェスト大学(North-west University)で行われた国際キリスト教高等教育増進協会のものであり、もう一つは中南部アフリカ韓国宣教師会のものでした。ノースウェスト大学は以前ポチエフストロムキリスト教大学(Potchefstroom University for Christian Higher Education)でしたが、後に政府の方針によって三つの大学が合同し、今の名称を取るようになりました。主にアフリカ大陸の諸国から、しかもイギリス、オーストラリア、インド、米國、カナダなどからも参加者がありました。参加者みんなが熱くキリスト教高等教育の増進のために語り、私も平素関心を持っていた国民高等学校について一つのセッションで発表させていただきました。国民高等学校とは日本の高等学校と違い、非正規のフリー大学を意味します。ですから、入学試験も単位を取るための試験もない制度です。私は色々な事情で正規の大学に行けない多くのアフリカの青年たちのためにそのような大学も必要であることを申し上げました。

2. 日本からT兄弟の訪問

中南部アフリカ韓国宣教師会のカンファランスは12月4日から7日までこちらのルステンブルク(Rustenburg)近くのあるリゾートで開かれました。各地域からおよそ二五〇人が集まり、成人部、青少年部、児童部、三つに別れ、大変有意義な集会を持ちました。主講師の心からの訴え、愛の宣教の必要に深く感銘を覚えました。



訪問した日本人大学生

久しぶりに日本語で自由に語る機会が与えられました。東京の足立愛の教会から一人の大学生T兄弟が来てくれたのです。私は彼の両親も良く知っており、彼が生まれた時から見守り続けてまいりました。彼の献児式、洗礼式も私が執り行いました。今年大学生となり、自分の道の発見という目的で遠い所まで来てくれました。彼の訪問の所為で今まで行ったことのない所を一緒に訪ねながら色々なことを語り合いました。11月20日から12月4日まで2週間のアフリカ滞在が、彼の魂の目覚めのためにどのくらい有益になったのでしょうか。将来、彼のように自己発見のために、或いは短期宣教のために来る人々がいるなら、その受け入れの準備も必要かと考えさせられました。

3. ドラケンシュタイン村での献児式

南アフリカにはシングル・ママ(single mom)が多く、大きな社会的な問題となっております。十代になり、異性に目覚める時、多くの少女たちが妊娠しますが、相手の人は責任を取ろうとはしません。妊娠した少女も両親も当り前のように受け取ります。極めて貧しい所では新生児の誕生は政府からの補助金があるので経済的に助けとなる場合があります。こちらのドラケンシュタイン村でも13歳の女の子が妊娠し、去る11月に小さい女の子を産みました。言えば、子どもがなお子どもを産んだ格好になりました。しかし命は大切なもので私は敢えて献児式を執り行い、祝福することにしました。このニューホープ・チャペルの初めての献児式でした。

4. 二番目の孫、「愛」の誕生

日本に行っている家内からグットニュースが伝わってきました。それは娘が12月6日、女の子を産んだということでした。娘にとつては2番目の子ども、私にとつては2番目の孫です。名前を「愛」と付けたそうです。命はこの国の命であれ大切に尊いものだと思えます。南アフリカの貧しい家庭で生まれた子ども、日本の一般の家庭で生まれた子どもも、みな神からの尊い贈りものであるのに違いありません。二人とも元気に成長し、主にあつて幸せになることをお祈りしたいと思います。

5. 祈りの課題

- ① 一年の生活・活動を良く締めくくり、新しい年の生活・活動を良く準備することができるようになる。
- ② 「和解の宣教集会」がさらに発展し、アフリカ宣教のために用いられるように。
- ③ 二〇一九年から開設しようとする国民高等学校が良く準備され、順調にスタートできるように。
- ④ 敬虔の訓練、祈り、宣教奉仕に献身した人々が集まり、アフリカ宣教のために共に助け合い、共に宣教に励むことができるように。
- ⑤ 日本に滞在している家内と息子、娘家族の健康と平安が守られるように。



(左)ニューホープ・チャペルでの献児式
(右)国際キリスト教高等教育増進協会の参加者一部

